

## お知らせ

記者発表資料

令和5年2月16日

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ  
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

### 令和4年度 中国地方整備局入札監視委員会 第一部会 第2回定例会議の審議概要について

中国地方整備局入札監視委員会は令和4年度第一部会第2回定例会議を令和5年1月23日（月）に開催しました。

会議では、令和4年4月1日から令和4年9月30日までの間に契約した「工事」「建設コンサルタント業務等」「役務の提供等及び物品の製造等」の中から抽出した8件の事案について、入札・契約の過程並びに契約内容について審議を行いました。

審議概要については別紙のとおりです。

#### 【問い合わせ先】

中国地方整備局入札監視委員会事務局

082-221-9231（代表）

◎主任監査官

やまもと ひろし  
山本 博司 （内線2114）

総務部 契約管理官

あごう ひであき  
吾郷 英明 （内線2222）

企画部 技術開発調整官

いまづ つとむ  
今津 勉 （内線3120）

## 中国地方整備局入札監視委員会（第一部会） 審議概要

|                            |  |                                     |
|----------------------------|--|-------------------------------------|
| 開催日時及び場所                   | 令和5年1月23日（月） 13時30分～16時13分<br>中国地方整備局 建政部 3階会議室  |                                     |
| 委員                         | 部会長                    竹田 宣典（大学教授）<br>委 員                    爲末 和政（弁護士）<br>委 員                    塚原 一郎（大学准教授）<br>委 員                    西村 伸一（大学院教授）<br>委 員                    山田 希恵（公認会計士） |                                     |
| 審議対象期間                     | 令和4年4月1日 ～ 令和4年9月30日   |                                     |
| 抽出案件                       | 総件数 8件   | （備考）<br>審議対象工事等の案件については、<br>別紙1のとおり |
| ○工事                        |  |                                     |
| 一般競争入札方式<br>（WTO対象）        | 1件   |                                     |
| 一般競争入札方式<br>（WTO対象外）       | 4件   |                                     |
| ○建設コンサルタント業務等              |  |                                     |
| 一般競争入札方式                   | 1件   |                                     |
| 公募型プロポーザル                  | 1件   |                                     |
| ○役務の提供等及び物品の製造等            |  |                                     |
| 一般競争入札方式                   | 1件   |                                     |
|                            | 意見・質問  | 説明・回答                               |
| 委員からの意見・質問、<br>それに対する説明・回答 | 別紙2のとおり  | 別紙2のとおり                             |
| 委員会による意見の具申<br>又は勧告の内容     | なし   |                                     |

別紙1 抽出事案一覧（期間 令和4年4月1日 ～ 令和4年9月30日）

【工事】

| 入札方式         | 工 事 名                  | 工事種別                | 入札者数 | 契約額(千円)   | 落札率    | 事務所等             | 備 考 |
|--------------|------------------------|---------------------|------|-----------|--------|------------------|-----|
| 一般競争 (WTO対象) | 令和4年度三隅・益田道路遠田高架橋鋼上部工事 | 鋼橋上部工事              | 16   | 1,320,506 | 91.01% | 道路部<br>道路工事課(浜田) | 本官  |
| 一般競争 (WTO以外) | 令和4年度小瀬川小川津地区外築堤護岸工事   | 一般土木工事              | 3    | 86,790    | 98.01% | 太田川              |     |
|              | 令和4年度出雲湖陵道路神西トンネル外舗装工事 | セメント・コンクリート<br>舗装工事 | 6    | 224,400   | 92.83% | 松江国道             |     |
|              | 令和4年度高梁川下流維持工事         | 維持修繕工事              | 1    | 233,200   | 90.59% | 岡山河川             |     |
|              | 令和4年度温井ダム放流設備側操作盤他更新工事 | 機械設備工事              | 1    | 297,000   | 99.96% | 温井ダム             |     |

【建設コンサルタント業務等】

| 入札方式      | 業 務 名                   | 業種区分                | 入札者数 | 契約額(千円) | 落札率     | 事務所等             | 備 考 |
|-----------|-------------------------|---------------------|------|---------|---------|------------------|-----|
| 一般競争      | 令和4年度鳥取道路管理支援業務         | 土木関係建設<br>コンサルタント業務 | 1    | 69,300  | 97.74%  | 鳥取               |     |
| 公募型プロポーザル | 令和4年度中国管内新洪水予測システム構築他業務 | 土木関係建設<br>コンサルタント業務 | 1    | 99,891  | 100.00% | 河川部<br>水災害予報センター |     |

【役務の提供等及び物品の製造等】

| 入札方式 | 件 名                       | 業務分類  | 入札者数 | 契約額(千円) | 落札率     | 事務所等 | 備 考 |
|------|---------------------------|-------|------|---------|---------|------|-----|
| 一般競争 | 令和4年度建設機械用遠隔操作(無人化)施工機器購入 | 物品の販売 | 2    | 6,710   | 100.00% | 中国技術 |     |

別紙2 委員からの意見・質問、それに対する説明・回答

| 意見・質問   | 説明・回答   |
|---|---|
| 報告及び審議  |   |
| (1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告   |   |
| <p>1) 入札方式別発注工事<br/>                 2) 入札方式別発注業務<br/>                 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等<br/>                 4) 指名停止等の運用状況<br/>                 5) 談合情報等の対応状況<br/>                 6) 再度入札における一位不動状況<br/>                 7) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況<br/>                 8) 一者応札の発生状況<br/>                 9) 不調・不落の発生状況<br/>                 10) 高落札率の発生状況</p> <p>Q 1. 指名停止について、裁判で事実が確定しなくても逮捕起訴だけで指名停止の処分ができるのか。</p> | <p>A 1. 指名停止については、指名停止等の措置要領において逮捕又は起訴で行うこととされている。</p>  |
| (2) 抽出事案審議  |   |
| <p>1) <b>令和4年度三隅・益田道路遠田高架橋鋼上部工事</b></p> <p>Q 1. 加算点について、技術提案での点差が見受けられるが、要因は何か。</p> <p>Q 2. 技術提案で落札者と次点者では2点差となっているが、明確に差があるものか。</p> <p>Q 3. 1者無効となっている理由は何か。</p> <p>Q 4. 加算点の項目に賃上げがあるが、いつからか。</p> <p>Q 5. 賃上げ加算対象工事はWTOの工事が対象か。</p> <p>Q 6. 賃上げ表明のみでの加算であり、実際賃上</p>   | <p>A 1. 落札者においては効果が高い提案であったことから高得点となっている。</p> <p>A 2. 技術提案の中には、注意を払って頂きたい点、押さえて頂きたい点などの記載を想定しており、多く記載されていたものと記載が少なかつたものによるものである。</p> <p>A 3. 本工事は一括審査によるB工事であり、無効の者は、先に落札決定したA工事の落札者となったため。</p> <p>A 4. 令和4年度4月以降の総合評価落札方式による調達を対象としている。</p> <p>A 5. 全ての工事等が対象である。</p> <p>A 6. 事業年度等の終了後に賃上げの証明書を提出</p> |

|  |   |
|--|---|
| <p>げされたかの確認はどのようにするのか。</p> <p>Q 7. ペナルティがあるということか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>   | <p>頂き確認する。賃上げされていなければ、以降発注する工事等において減点となる。</p> <p>A 7. そうである。</p>  |
| <p><b>2) 令和4年度出雲湖陵道路神西トンネル外舗装工事</b></p> <p>Q 1. コンクリート舗装を選択した理由は何か。</p> <p>Q 2. コンクリート舗装とアスファルト舗装とのコスト面での差はどのくらいあるのか。</p> <p>Q 3. ここで採用しているのは、地盤がしっかりしており、陥没の危険が無いということか。</p> <p>Q 4. トンネルはほとんどコンクリート舗装となるのか。</p> <p>Q 5. ICT活用計画において全ての者で加算されているが、具体的にICT活用についてはどういったものを想定しているか。</p> <p>Q 6. 今回はどの者も確実にICT活用をするということか。</p> <p>Q 7. 技術者について、ICT活用が全ての者で0点となっているが、配置予定技術者に経験が無いということか。</p> <p>Q 8. ICT技術については専門業者へ外注するのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p> | <p>A 1. ライフサイクルコストを考えると優位なため。トンネル部や将来的に沈下の懸念が少ない箇所等でコンクリート舗装を採用している。</p> <p>A 2. 一般的にはコンクリート舗装が高価ではあるが、ランニングコストを加味している。</p> <p>A 3. そうである。</p> <p>A 4. そうである。</p> <p>A 5. 3次元データを機械に読み込ませて、自動的に機械制御を行う計画などを想定している。</p> <p>A 6. そうである。</p> <p>A 7. そうである。</p> <p>A 8. 外注する場合や自社施工する場合、いずれも想定される。</p> |
| <p><b>3) 令和4年度鳥取道路管理支援業務</b></p> <p>Q 1. 業務箇所が3出張所となっているが、3出張所へ人員を配置するものか。それとも受注業者の会社で実施するものか。</p> <p>Q 2. 各出張所への常駐は固定の人となるのか。それとも複数名での交代制となるのか。</p>   | <p>A 1. それぞれの出張所で業務を実施してもらう。</p> <p>A 2. 配置予定技術者として提出された技術者に業務を実施してもらう。現状では同一者が出張所で業務を実施している。</p>   |

|  |   |
|--|---|
| <p>Q 3. 3出張所あるが、3名が固定と考えて良いか。</p> <p>Q 4. 1者入札となっている理由は何か。</p> <p>Q 5. この業務について、内製化はできないか。</p> <p>Q 6. 技術者数2名に対して契約金額が高いと思われるが、なぜか。</p> <p>Q 7. 技術者個人の能力で審査を行っているのか。それとも、会社の責任として審査を行っているのか。</p> <p>Q 8. 入札参加者について、この業務が社会的に成熟過程のため参加者が少ないのか。それとも特殊性があるため少ないのか。</p> <p>Q 9. 過去の同業務の受注者は同一者なのか。</p> <p>Q 10. 同一者が続いた場合は、該当業者を排除するという事はないのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p> | <p>A 3. 2名での対応となっている。1出張所は、そのうち1名が必要に応じて業務を実施することとなる。</p> <p>A 4. 参加可能者数500者と参加しやすい要件としているが、業務内容が道路法を熟知した上で占用審査等を行う特殊性から参加が少ないと思われる。入札説明書ダウンロード者に確認したところ、担当する技術者が見当たらないということで参加が難しいとのことであった。</p> <p>A 5. 民間ができることは、民間に任せるという方針の下、行っている。</p> <p>A 6. 国債契約で2箇年分となっている。また、2人を雇う契約ではなく、会社として業務を履行するための契約金額となっている。</p> <p>A 7. 会社として業務を履行しており、業務の履行に関しては、管理技術者を配置し会社の管理体制の下での業務対応となっている。</p> <p>A 8. 年度当初からの工期のため一定の時期に公告が集中し、技術者を確保した上で案件を絞って参加しており、結果として1者入札となっているのが実態である。現状では競争参加要件を緩和するという対応をとっている。</p> <p>A 9. 少なくとも平成30年以降は、同一者となっている。</p> <p>A 10. 排除はできない。</p> |
| <p><b>4) 令和4年度小瀬川小川津地区外築堤護岸工事</b></p> <p>Q 1. ダウンロード者27者で入札参加者3者とダウンロード者に比べ入札参加者が少ない理由は何か。</p> <p>Q 2. 入札に参加した3者は、岩国市を中心に活動している業者か。</p>  | <p>A 1. この工事は、2箇所で工事を行う点在型の工事であり、参加者が少ない傾向となっている。また、発注額が比較的低い工事であること、家屋が隣接し騒音振動対策に気を使うこと等により参加者数が少ないと思われる。</p> <p>A 2. それぞれ、広島県北広島町、広島県廿日市市、山口県光市に本社がある会社となっている。</p>  |

|  |   |
|--|---|
| <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>  |   |
| <p><b>5) 令和4年度高梁川下流維持工事</b></p> <p>Q 1. ダウンロード者18者で入札参加者1者となっているが、入札参加者が少ない理由は何か。</p> <p>Q 2. 工事の内容が幅広くなっているが、内容を分割すれば参加者が増えるのでは無いか。</p> <p>Q 3. 工事の内容が不確定なものがあるが、予定価格や調査基準価格はどのように決めているのか。</p> <p>Q 4. 過去の実績に基づきこのくらいあるはずということで数量を提示しているということか。</p> <p>Q 5. 発注者としては、年間で必ず行うわけではないというリスクがあるということか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p> | <p>A 1. 維持工事は参加者が少ない状況となっている。スポット的な工事が多く利益確保が困難なことが参加者が少ない理由と考えられる。ダウンロード者に確認したところ、緊急時の体制確保が難しく、技術者も不足していることから参加が難しいとのことであった。</p> <p>A 2. 内容を分割して発注すると、一定量を確保するために、広い工事範囲での発注となり、広範囲に作業する必要が出てくるので参加者増は難しいと思われる。また、本工事に緊急対応も入っており、高梁川下流部を普段から総合的に見て対応をしてもらうため、この工事内容としている。</p> <p>A 3. 当初想定した数量を提示して、予定価格等を算出している。</p> <p>A 4. そうである。契約内容には「一式」と記載しているが、具体的な数値を提示して積算を行っている。</p> <p>A 5. そうである。</p> |
| <p><b>6) 令和4年度温井ダム放流設備機側操作盤他更新工事</b></p> <p>Q 1. 平成29年の工事内容は、今回の工事内容と同じか。</p> <p>Q 2. 落札額が予定価格と近似している理由は何か。</p> <p>Q 3. 特別調査の参考見積りは、落札者から提出された見積りか。</p>  | <p>A 1. 同じタイプの機側操作盤の工事である。</p> <p>A 2. 基準に基づいて積算しているが、操作盤は特別調査で価格を算出しており、公表はしていない。工事費内訳書を確認すると操作盤について特別調査の価格と落札者の価格がほぼ同額であったことから予定価格と近似したと思われる。</p> <p>A 3. 落札者を含む複数者から見積りを徴取し、算出していると聞いている。</p>  |

|  |  |
|--|--|
| <p>Q 4. 特別調査の算定の方法はどのように行っているか。複数者の見積りの平均か、それとも違う判定を行っているか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>  | <p>A 4. 特別調査は、業務を受注した者が行っている。受注者は見積りを徴取した業者にヒアリングを行い、適切な価格かどうかを判断している。具体的な算定方法は受注者のノウハウとなるため発注者は知り得ない。</p>   |
| <p><b>7) 令和4年度中国管内新洪水予測システム構築他業務</b></p> <p>Q 1. R R I モデルとは、学術的に或いは国土交通省としてオーソライズされたものか。</p> <p>Q 2. 他の整備局では他者が受注しており、特別な技術が無いと受注できないのか。落札者でないとできないのか。</p> <p>Q 3. 随意契約なのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>                                      | <p>A 1. オーソライズされたものである。</p> <p>A 2. ある程度河川毎に特徴があり、既存のモデルの特徴を理解している業者が有利にはなるが、特定の業者でないとできないという業務ではない。</p> <p>A 3. プロポーザルで発注しているため。参加表明した者が本業務は1者であったが、複数者であっても技術提案を評価して、最も優れている者を特定し、随意契約を行う。</p>   |
| <p><b>8) 令和4年度建設機械用遠隔操縦（無人化）施工機器購入</b></p> <p>Q 1. 落札額と次点の入札額が倍となっている理由は何か。</p> <p>Q 2. 落札者が提示した内容で十分仕様を満たしており、次点の者は過剰な仕様であるということか。</p> <p>Q 3. バックホウの仕様、カメラの仕様等の提示は行っているのか。</p> <p>Q 4. 見積りでどこに差が出ているか把握しているか。</p> <p>Q 5. 落札率が100%となっている理由は何か。</p> | <p>A 1. 仕様は、映像・通信がある一定程度で出力や一定以上通信されることを条件にしており、機械や製品は指定していない。各社が自社のノウハウで考え機器選定しているためと考える。</p> <p>A 2. そうである。</p> <p>A 3. 仕様書において、通信距離、通信方式やカメラの解像度等提示している。</p> <p>A 4. 通信ユニット、カメラや諸経費について差があった。</p> <p>A 5. 歩掛り等が無かったため、参加者から見積りを徴取し、最低金額を予定価格としている。最低見積業者がその金額で入札したため、落札率100%となった。</p> |

|                      |  |
|----------------------|--|
| ○本件入札・契約は適正であると判断する。 |  |
| (3) 再苦情処理の審議・報告      |  |
| 該当事案なし               |  |
| (4) その他              |  |
| なし                   |  |